

しゅ

わ

げん

ご

じょう

れい

手話言語条例が

できました!



みのお し しょうがい ひと ひと
箕面市では、障害のある人もない人も、
だれ ぐ 誰もが暮らしやすいまちづくりをめざし、
しゅ わ げんごじょうれい せいてい
「手話言語条例」を制定しました。

しゅ わ げん ご じょうれい 「手話言語条例」とは

しゅ わ たん しゅだん どく じ げん ご
手話は単なるコミュニケーション手段でなく、独自の言語であることをふまえ、
しゅ わ たい し みる り かい ふか き かい しゅ わ つか
手話に対する市民の理解を深め、あらゆる機会の手話を使ってコミュニケー
ションをとることができるまちづくりをめざし、市の考えや取組、市民や事業者の
やくわり さだ 役割を定めたものです。

しゅ わ 手話ってなあに?

しゅ わ みみ き ひと しゃ はなし つか
手話は、耳の聞こえない人(ろう者など)が、話をするときに使うことばです。
に ほん ご えい ご おな しゅ わ どく じ ぶん ぼう たい けい も げん ご
日本語や英語と同じように、手話も独自の文法体系を持つ言語(ことば)です。

わたし まわ み き しょうがい
私たちの周りでは、「見えない」「聞こえない」など、さまざまな障害のある
かたが せい かつ 生活しています。

たが ほうほう すこ く ふう おお はな
お互いにコミュニケーションの方法を少し工夫するだけで、多くのことを話し
たり、助け合ったりすることができます。

こま ひと み こえ あいて はなし き なに ひつ よう
困っている人を見かけたら、まず声をかけ、相手の話をよく聞いて「何が必要
なのか」を確認しましょう。

し 知ってほしいこと ～当事者の声～

おと はんのう ひと め じょうほう さが ひと き
音に反応しない人、目で情報を探している人がいたら、「聞こえないのかも」と
おも ぜん ぼう はな
思っ、前方から話しかけてみてください。

ちょうかくしょうがいしゃ あい て くち うご め み だい じ
聴覚障害者にとって、相手の口の動きや目を見ることはとても大事なので、マス
クはず め み はな
クは外して、目を見ながら話してほしいです。

また、しょうがい しょうがい
また、障害があると分かってても遠慮はいりません。

ひつ だん う も じ み あ かい わ
筆談や、スマホに打った文字を見せ合うなどして会話をしましょう！

しょうがい やく だ 障害のあるかたとのコミュニケーションに役立つ こう ざ かつ どう さん か 講座やサークル活動にぜひご参加を！

し しょうがい やく だ しゅ わ ようやく ひっき
市では、障害のあるかたとのコミュニケーションに役立つ、手話や要約筆記、
おん やく まな こう ざ かい さい
音訳などを学ぶ講座を開催しています。

また、ち い き かつ どう さか
また、地域のみなさんによるサークル活動も盛んです。

かく しゅ こう ざ かつ どう くわ しょうがい ふく し しつ と あ
各種講座や、サークル活動について、詳しくは障害福祉室へお問い合わせくだ
さい。

し じょうれい とりくみ すす
市では、この条例をもとに、さまざまな取組を進めていきます。

し とり くみ 市の取組

- しゅ わ り ようかんきょう せい び
手話の利用環境の整備など
- しゅ わ まな き かい ていきょう
手話を学ぶ機会の提供
- がっ こう しゅ わ たい り かい そく しん
学校などによる手話に対する理解の促進
- じ ぎょうしゃ しゅ わ たい り かい そく しん
事業者などによる手話に対する理解の促進



じょうれい くわ し
条例について、詳しくは市ホームページ(QRコード)を
らん
ご覧ください。



と あ
問い合わせ

みの お し けん こうふく し ぶ しょうがいふく し しつ
箕面市健康福祉部障害福祉室

でん わ ばん ごう

電話番号072・727・9506 ファクス072・727・3539